

# 諏訪の景気動向

平成24年 8月

(平成24年 7月末 D・I調査)

平成24年 8月25日

岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

## 諏訪地方の景気動向（平成 24 年 7 月末）

「平成 24 年 7 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 165 社のご協力を得て行った平成 24 年 7 月末の「景気動向調査(DI調査)」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは 0.6 と前回調査時(平成 24 年 4 月末、以下同)の $\Delta 0.6$  から 1.2 ポイント改善した。製造業の業況判断DIは $\Delta 5.5$  と前回調査時の $\Delta 0.8$  から 4.7 ポイント悪化した。非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の同DIは 21.0 と前回調査時の 0.0 から改善した。「3 ヶ月後」の業況予想DIは、製造業が $\Delta 14.2$ (前回調査時  $\Delta 2.4$ )、非製造業が 5.3(前回調査時 16.7)となっている。

**製造業**の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業 18.1%、「悪化」企業 23.6%で $\Delta 5.5$ と前回調査時の $\Delta 0.8$  から 4.7 ポイント悪化した。また、「前年同期」と比べた業況判断DIは $\Delta 2.4$ で、「好転」企業が 29.1%、「悪化」企業は 31.5%で、前回とほぼ同様な傾向となった。また、「3 ヶ月後」の受注予想DIは横ばいとする企業が多いが、「増加」企業 16.0%、「減少」企業 28.0%で $\Delta 12.0$ と前回調査時の 0.9 から再びマイナスに転じた。業種別の「3 ヶ月前」と比べた受注状況DIでは、前回プラスに転じた「精密機械」が 0.0 で横這い、「電気機械」は $\Delta 19.2$ と再びマイナスに転じた。改善傾向の「輸送用機械」は $\Delta 6.2$ で、17.0 ポイント改善した前回調査時よりは減速した。「金属製品」も $\Delta 6.6$ で、前回調査時より 10.0 ポイント改善した。

ヒアリング調査では、輸送用機械関連の下請企業を中心に「円高や不安定な世界情勢、エコカー補助金終了が迫ったことなどで生産量は減少傾向になっている」「受注は堅調だが、単価が安く収益面は低調」「海外でも日本企業間の価格競争があり、収益性は予想以上に厳しい」「コストを抑え、国内生産を続けるための自動化、効率化の準備を進めている」と、先行き懸念の声があった。

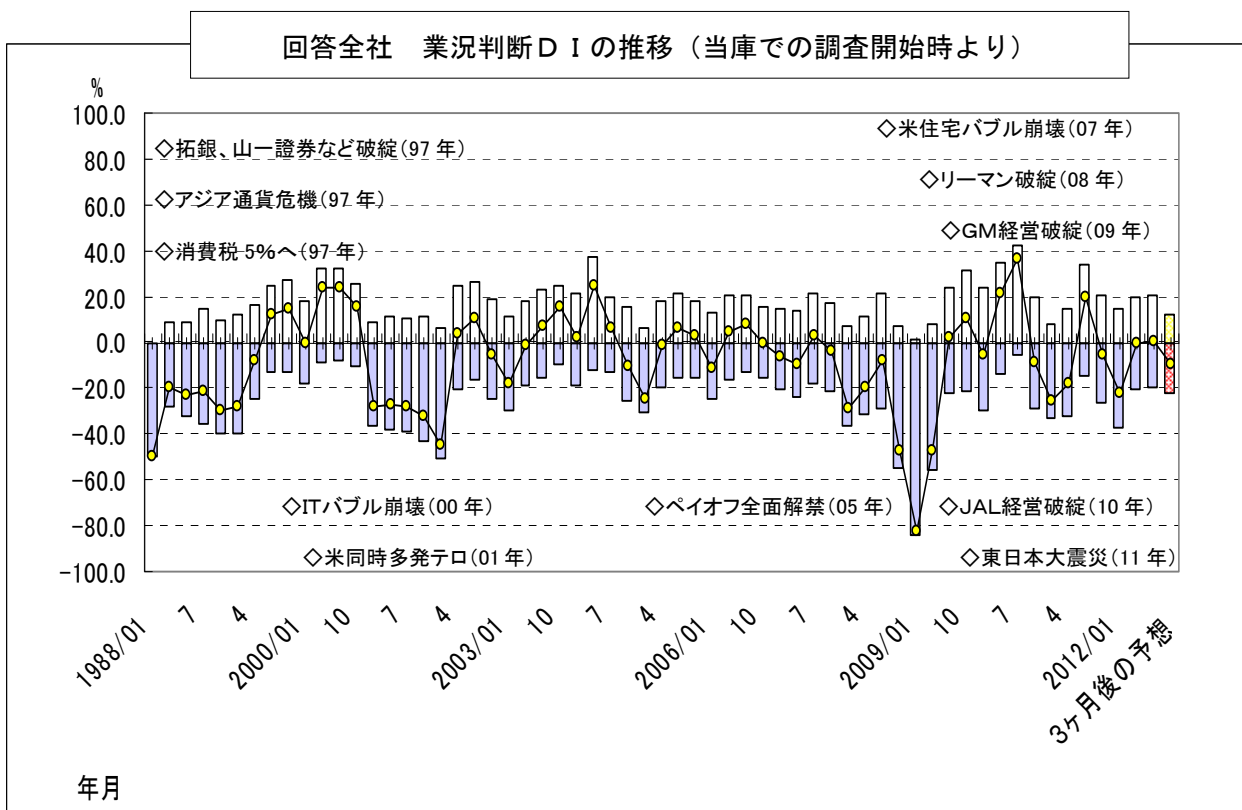
**商業**の「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「横這」の企業が 77.8%と前回調査時よりやや増加し、「好転」「悪化」とも 11.1%で同DIは 0.0 だった。梅雨明け前は天候不順で衣料や果物、飲料の売上が減少したが、猛暑となった中旬ごろから持ち直した。企業の経費節減などで夏ギフトの動きは例年より鈍い。また、自動車販売では諏訪地方の 7 月の車庫証明件数(軽自動車除く)は 1,153 台と、エコカー補助金の効果もあり前年同月に比べ+315 台(+37.6%)の増加となった。「3 ヶ月後」の業況判断DIは、「好転」を予想する企業が 11.1%に対し、「悪化」を見込む企業が 33.3%あり、 $\Delta 22.2$ と前回調査時( $\Delta 7.2$ )よりマイナス幅が 15 ポイント増加した。

**観光・サービス業**は、本格的な夏の観光シーズンに入り、「3 ヶ月前」と比べた業況判断DIは前回調査時の 21.1 から 41.2 へ大幅改善しているが、今年は東北方面への誘客の動きや昨年のNHKドラマの影響などがあり、「前年同期」と比べた業況判断DIでは、 $\Delta 17.6$ と前回調査時の 31.5 から 49.1 ポイントの悪化となった。諏訪湖周辺のホテル、旅館の宿泊客数は施設によって増減区々で、高原の観光施設の入込み客数は、天候不順だった連休が低調で、大雨による土砂崩れもあったが、後半に盛り返し、「3 ヶ月前」と比べた稼働率DIは 47.0 と大幅プラスになっている。「3 ヶ月後」の業況予想DIは前回調査時の 57.9 より減速したものの、29.4 と好転を見込む企業が多い。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは0.0と前回調査時の△26.6より改善したが、受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて△33.3、「前年同期比」は△41.7となっており、「3ヶ月後」も「好転」とみる企業はなく、△50.0と厳しい環境が続いている。

諏訪地方の平成24年6月の新設住宅着工戸数は85戸と、前年同月の94戸に比べ△9戸(△9.6%)の減少となった。分譲や貸家はやや増加したが、持ち家が減少傾向となっている。また、平成24年4月～平成24年6月の累計着工戸数は233戸で、前年同期累計比では△20戸(△7.9%)の減少となった。7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は25件811百万円で、4月～7月の累計は1,243百万円となり前年同期累計比67.9%増となった。市町村の7月の発注工事は建築工事15件、土木及び下水道工事46件、その他工事13件の合計74件806百万円だった。住宅エコポイント終了の影響は少なかった。

雇用状況は、平成24年6月の諏訪地方の有効求人倍率は、前年同月を0.10ポイント上回り、0.74倍となった。長野県の同倍率は0.83倍、全国の同倍率は0.82倍で、3ヶ月連続で県や全国を下回っている。新規求人数(全数)は1,459人で前年同月比+140人(+10.6%)の増加、新規求職者数は1,060人で前年同月比△71人(△6.3%)の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、その他サービス業が+58.2%、建設業が+53.8%、卸・小売業が+45.5%とそれぞれ増加したが、製造業は△8.1%、運輸業では△43.9%減少した。また、1件10人以上の人員整理は0件で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は122人と前年同月より+65人増加、前月より+45人増加した。



## 業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社(165社)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が20.6%、「横這」企業が59.4%、「悪化」企業が20.0%で同DIは0.6と、前回調査時の△0.6から1.2ポイント改善した。

製造業の業況判断DIは「好転」企業18.1%、「悪化」企業23.6%で△5.5と、前回調査時の△0.8から4.7ポイントマイナス幅が拡大した。また、非製造業(商業、観光・サービス業、建設業)の業況判断DIは21.0と前回調査時の0.0から大幅改善した。

産業別業況表

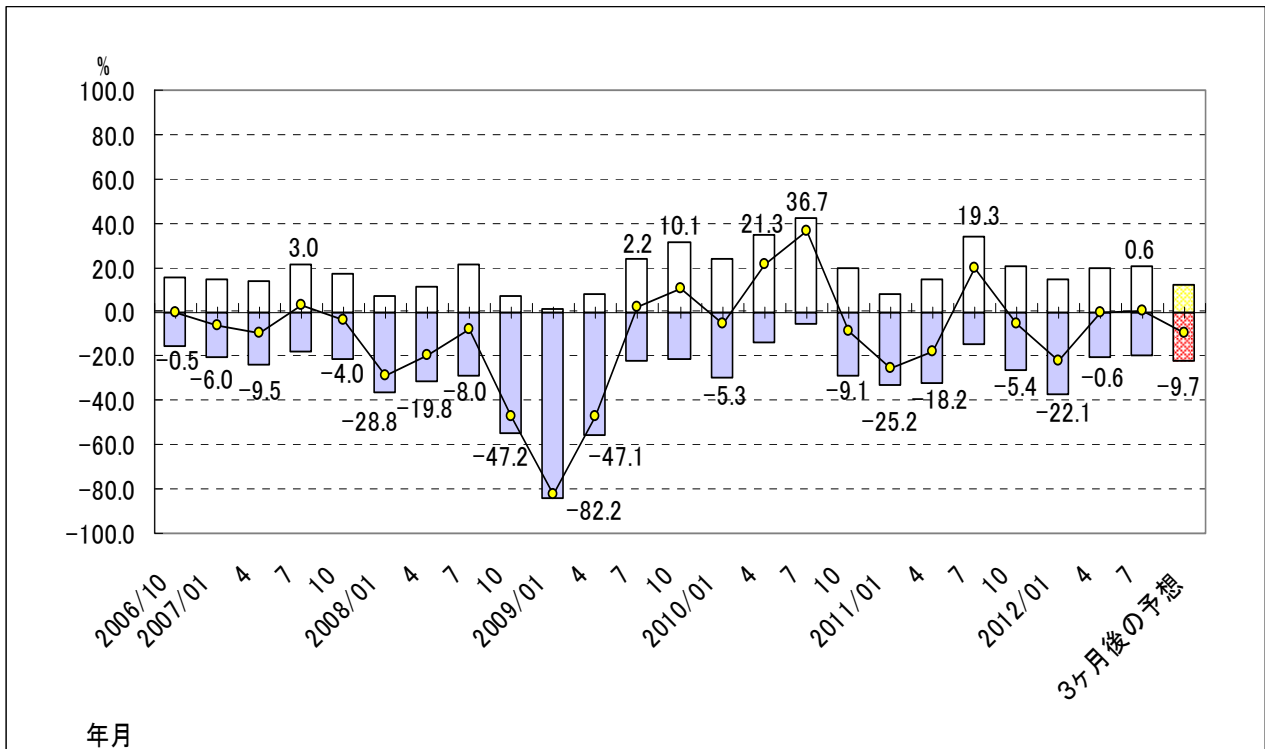
(企業数・%) 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	165	20.6	59.4	20.0	0.6	165	26.1	41.2	32.7	-6.6	165	12.1	66.1	21.8	-9.7
製造業	127	18.1	58.3	23.6	-5.5	127	29.1	39.4	31.5	-2.4	127	9.4	66.9	23.6	-14.2
非製造業	38	28.9	63.2	7.9	21.0	38	15.8	47.4	36.8	-21.0	38	21.1	63.2	15.8	5.3
商業(大型店)	9	11.1	77.8	11.1	0.0	9	11.1	33.3	55.6	-44.5	9	11.1	55.6	33.3	-22.2
建設業	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	16.7	41.7	41.7	-25.0	12	0.0	83.3	16.7	-16.7
観光・サービス	17	47.1	47.1	5.9	41.2	17	11.8	58.8	29.4	-17.6	17	41.2	47.1	11.8	29.4

### 自社業況判断DIの推移

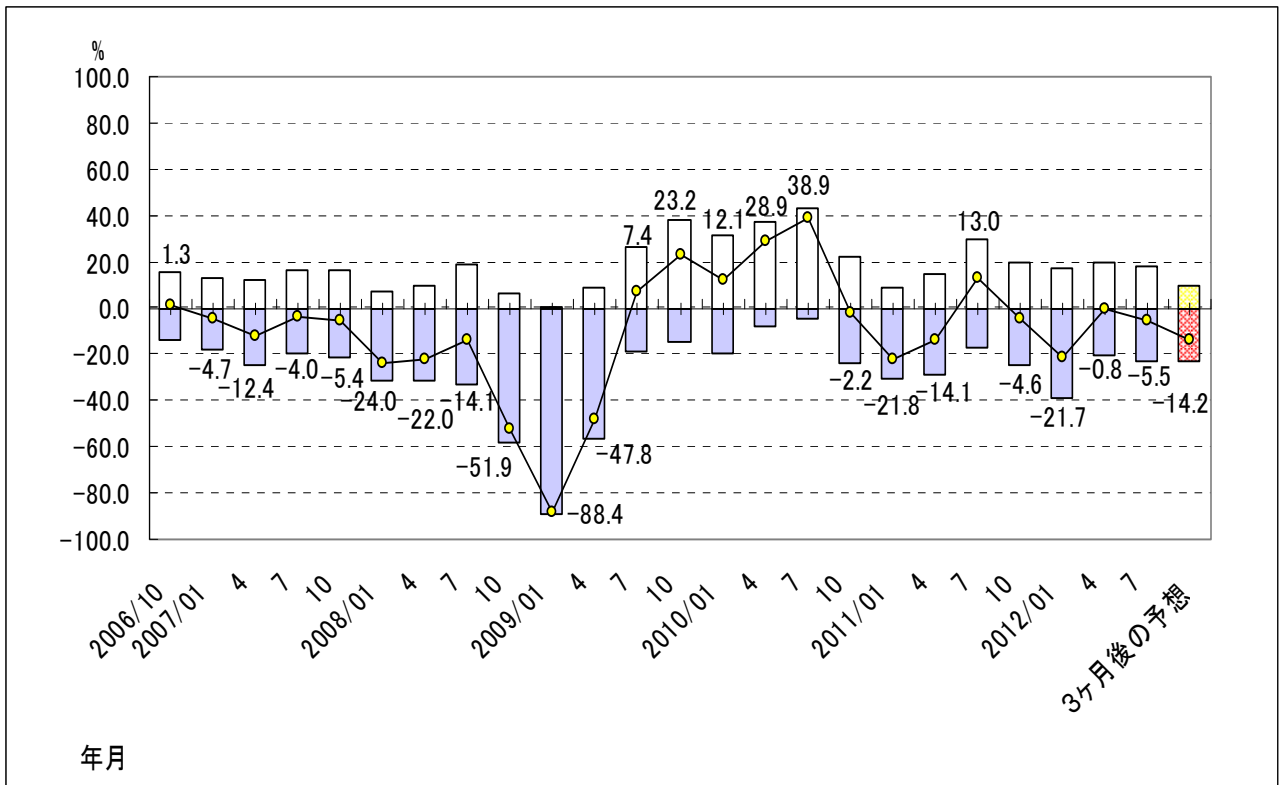
#### ●回答全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



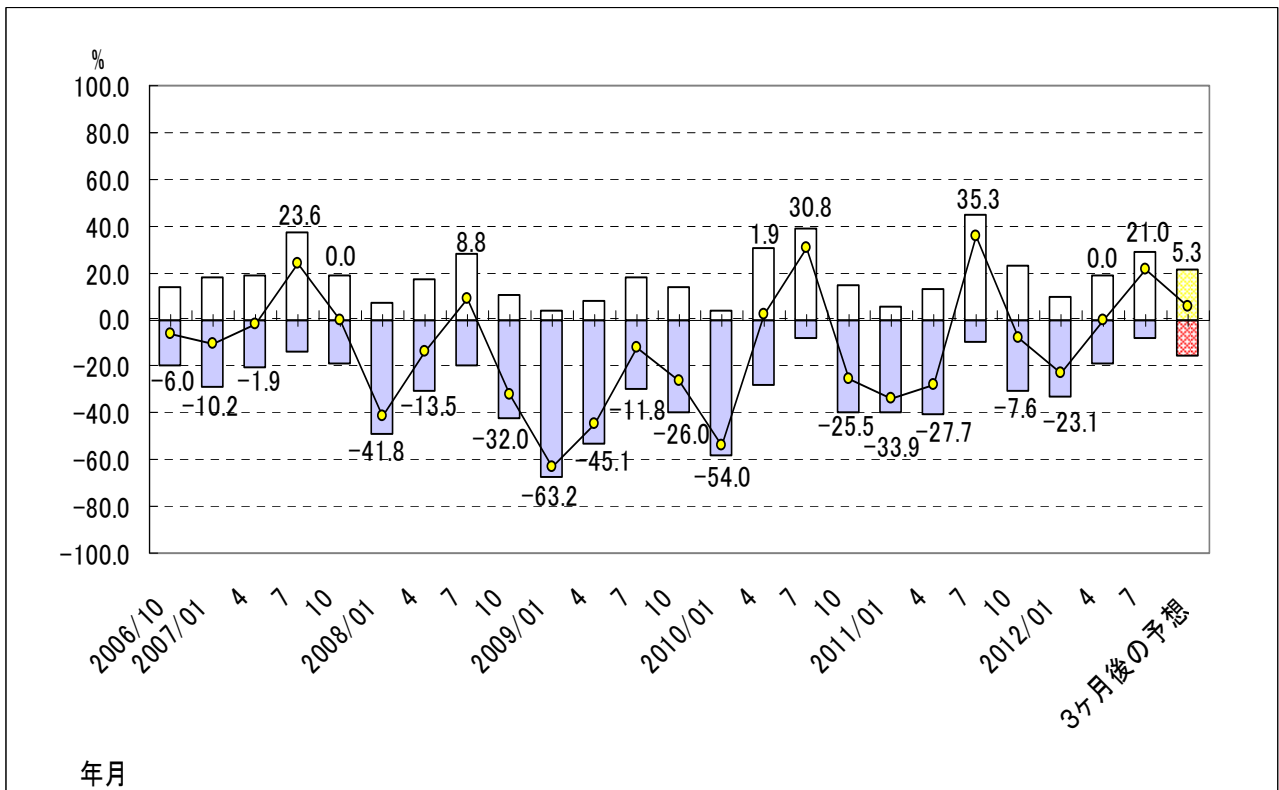
●製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-2



●非製造業:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-3



## 産業別景気動向

### 1. 製造業

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業 18.1%、「悪化」企業 23.6%で同DIは△5.5と、前回調査時の△0.8から4.7ポイント悪化した。「前年同期」と比べた業況判断DIは△2.4で、前回調査時の△7.1からさらに改善している。しかし、「3ヶ月後」の業況予想DIは△14.2で、「横這い」とする企業が66.9%と最も多いものの、「好転」企業 9.4%、「悪化」企業 23.6%となり、前回調査時の△2.4から11.8ポイント悪化した。

収益性DIは「3ヶ月前」との比較では△13.5と前回調査時の△10.3からマイナス幅がやや拡大した。「3ヶ月後」の収益性予想DIも△16.7で、前回(△10.3)より拡大している。

受注状況DIは「3ヶ月前」と比べて△4.0と、前回調査時の△5.6から1.6ポイント改善した。しかし、「3ヶ月後」の受注予想DIでは「増加」企業 16.0%、「減少」企業 28.0%で同DIは△12.0と、前回調査時の0.9から再びマイナスに転じた。

規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「1～29人企業」は△19.0、「30～99人企業」が17.9、「100人以上企業」は△8.0となった。

業種別(主要5業種)の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIでは、前回はほとんどの業種が改善傾向を示していたが、今回は一般機械 13.3、精密機械 10.0とプラスのほかは、輸送用機械で好転企業がなく、悪化企業が25.0%となり△25.0、電機機械も△15.4、金属製品は△13.4と水面下となり、改善傾向に陰りが見られる。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	127	18.1	58.3	23.6	-5.5	127	29.1	39.4	31.5	-2.4	127	9.4	66.9	23.6	-14.2	
規模	1～29人	63	12.7	55.6	31.7	-19.0	63	22.2	41.3	36.5	-14.3	63	4.8	69.8	25.4	-20.6
	30～99人	39	25.6	66.7	7.7	17.9	39	41.0	38.5	20.5	20.5	39	17.9	64.1	17.9	0.0
	100人～	25	20.0	52.0	28.0	-8.0	25	28.0	36.0	36.0	-8.0	25	8.0	64.0	28.0	-20.0
分類	金属製品製造業	15	13.3	60.0	26.7	-13.4	15	20.0	53.3	26.7	-6.7	15	6.7	66.7	26.7	-20.0
	一般機械器具製造業	30	20.0	73.3	6.7	13.3	30	40.0	40.0	20.0	20.0	30	3.3	66.7	30.0	-26.7
	電気機械器具製造業	26	23.1	38.5	38.5	-15.4	26	26.9	26.9	46.2	-19.3	26	15.4	61.5	23.1	-7.7
	輸送用機械器具製造業	16	0.0	75.0	25.0	-25.0	16	43.8	25.0	31.3	12.5	16	12.5	68.8	18.8	-6.3
	精密機械器具製造業	10	20.0	70.0	10.0	10.0	10	40.0	50.0	10.0	30.0	10	0.0	100.0	0.0	0.0

## ① 諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

### ● 金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」した企業が13.3%、「悪化」した企業が26.7%で、 $\Delta 13.4$ と、前回調査時の $\Delta 5.6$ から7.8ポイント悪化した。「前年同期比」の業況判断DIは $\Delta 6.7$ だった。「3ヶ月後」の業況予想DIでは「好転」企業が6.7%、「悪化」企業が26.7%で $\Delta 20.0$ となっている。

### ● 一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは13.3で、「好転」企業20.0%が、「悪化」企業6.7%を上回り、プラスとなった。「前年同期比」の業況判断DIでも20.0と改善しているものの、「3ヶ月後」の予想DIは $\Delta 26.7$ で、「好転」企業3.3%、「悪化」企業30.0%と5業種中最も慎重な見方となっている。

### ● 電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは $\Delta 15.4$ と、大幅改善した前回調査時の $\Delta 8.7$ から再び悪化した。「前年同期」比では $\Delta 19.3$ となり、「3ヶ月後」の業況予想DIは $\Delta 7.7$ で、「横這い」の企業割合が多く、「好転」企業は15.4%、「悪化」企業は23.1%となっている。

### ● 輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、前回調査時の7.1から $\Delta 25.0$ と悪化した。「横這い」企業が75.0%を占める中で、「悪化」企業が増えている。「前年同期比」の業況判断では12.5とプラスだが、「3ヶ月後」の業況予想DIは $\Delta 6.3$ で「好転」企業12.5%に対し、「悪化」企業が18.8%と上回っている。エコカー補助金終了後の反動減の懸念も見られる。

### ● 精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、計量器や医療関連をはじめとする「好転」企業が20.0%、「悪化」企業が10.0%で10.0となった。前回調査時の18.2からは減速したが、依然プラス状況となっている。「前年同期比」の業況判断DIも30.0だが、「3ヶ月後」の業況予想DIは0.0で「横這い」と見る企業が占めている。

## ② 規模別業況

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、「30～99人」規模が17.9とプラスだが、「1～29人」が $\Delta 19.0$ 、「100人以上」が $\Delta 8.0$ とマイナスだった。前年同期比でも同様な傾向となっている。「3ヶ月後」の業況予想DIは、「30～99人」が0.0の横這い、「1～29人」は $\Delta 20.6$ 、「100人以上」は $\Delta 20.0$ と、全体的に悪化予想となっている。

### ③受注状況DI(規模別、業種別)

製造業全社の「3ヶ月前」と比べて受注状況は「増加」企業 22.2%、「減少」企業 26.2%で同DIは△4.0と、改善傾向だった前回調査時の△5.6からさらに1.6ポイント改善した。前年同期比では△6.3となった。しかし、「3ヶ月後」の受注予想DIは△12.0で「増加」企業 16.0%、「減少」企業 28.0%と、前回の0.9から再びマイナスに転じた。

規模別の受注状況DIは、「3ヶ月前」と比べて「1～29人企業」は△17.8で、前回調査時の△20.3からやや改善した。「30～99人」企業も23.0と前回の7.5から改善した。一方、「100人以上」は△12.0で前回調査時の13.6から悪化し、マイナスに転じた。

また、「前年同期比」の同DIでは「1～29人」と「100人以上」では前回調査時より悪化したが、「30～99人」は前回の5.0から15.4へと改善している。一方、「3ヶ月後」の受注予想では「1～29人企業」が△19.3、「30～99人」は+2.5、「100人以上」が△16.7と、どの規模でも悪化幅が広がると見ている。

業種別(主要5業種)では、「3ヶ月前」と比べて受注状況DIは、「一般機械」が前回調査時の△9.7から13.3とプラスに転じた。「金属製品」は△16.6から△6.6、「輸送用機械」は△14.3から△6.2、とそれぞれマイナス幅が縮小したが、「電気機械」は4.5から△19.2とマイナスに転じ、「精密機械」も18.2から0.0と悪化した。

「前年同期比」のDIでは「一般機械」が23.3、「精密機械」は20.0、「輸送機械」が12.5とプラスとなった。反面、「電気機械」は△30.8、「金属製品」は△13.3と悪化した。「3ヶ月後」の予想DIは、前回調査時にプラス予想だった「輸送機械」と「電気機械」が0.0となり、「一般機械」が△26.7、「金属製品」と「精密機械」は△20.0となり、全業種で前回調査時より悪化予想となっている。

業種別・規模別受注状況表

表-3

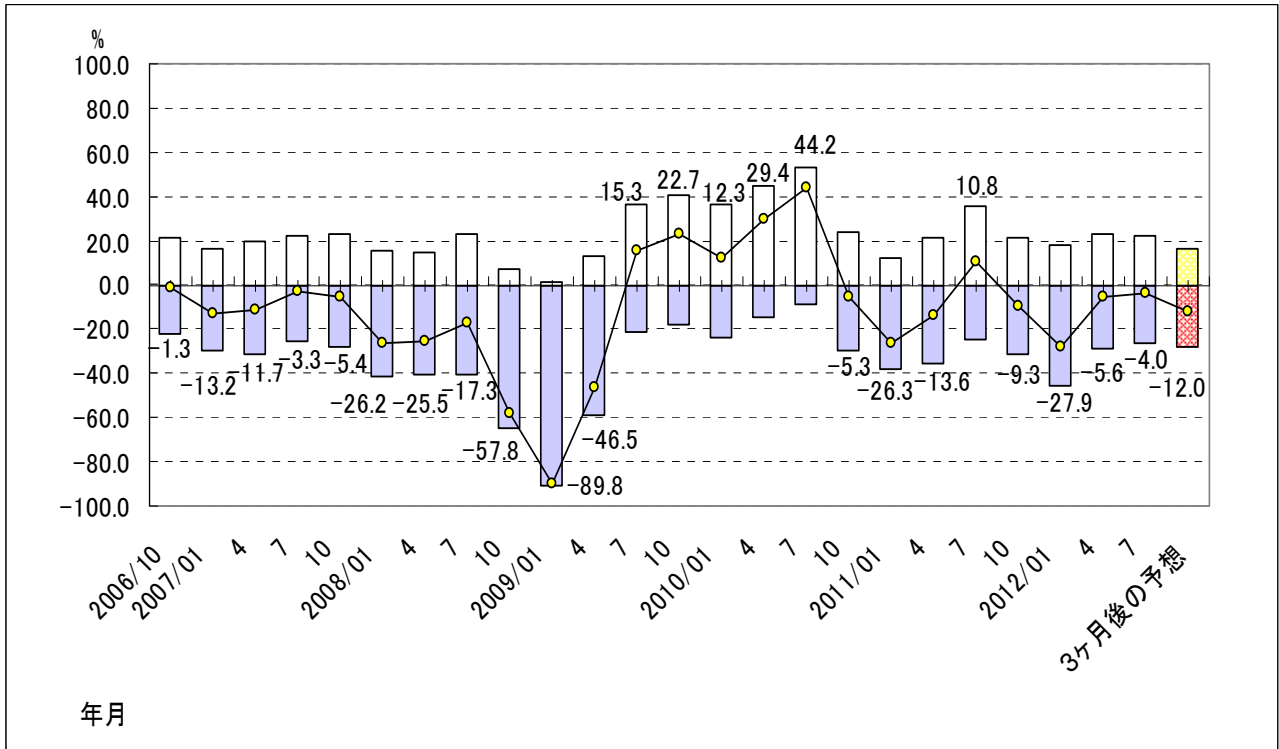
		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		127	22.2	51.6	26.2	-4.0	126	31.0	31.7	37.3	-6.3	125	16.0	56.0	28.0	-12.0
規模	1～29人	62	16.1	50.0	33.9	-17.8	62	24.2	33.9	41.9	-17.7	62	11.3	58.1	30.6	-19.3
	30～99人	39	33.3	56.4	10.3	23.0	39	41.0	33.3	25.6	15.4	39	25.6	51.3	23.1	2.5
	100人～	25	20.0	48.0	32.0	-12.0	25	32.0	24.0	44.0	-12.0	24	12.5	58.3	29.2	-16.7
中分類	金属製品製造業	15	26.7	40.0	33.3	-6.6	15	26.7	33.3	40.0	-13.3	15	13.3	53.3	33.3	-20.0
	一般機械器具製造業	30	23.3	66.7	10.0	13.3	30	43.3	36.7	20.0	23.3	30	3.3	66.7	30.0	-26.7
	電気機械器具製造業	26	23.1	34.6	42.3	-19.2	26	26.9	15.4	57.7	-30.8	25	28.0	44.0	28.0	0.0
	輸送用機械器具製造業	16	18.8	56.3	25.0	-6.2	16	43.8	25.0	31.3	12.5	16	25.0	50.0	25.0	0.0
	精密機械器具製造業	10	20.0	60.0	20.0	0.0	10	40.0	40.0	20.0	20.0	10	0.0	80.0	20.0	-20.0



製造業の受注状況DIの推移

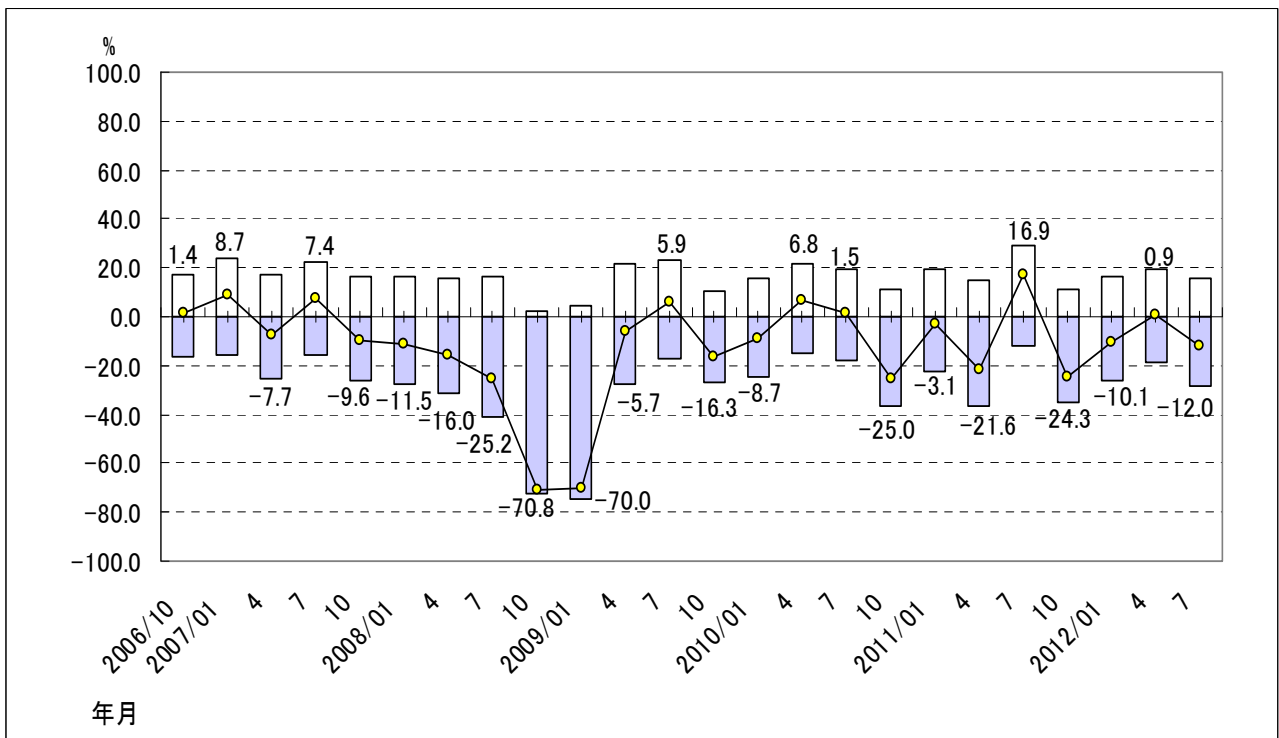
●製造業全社:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー4



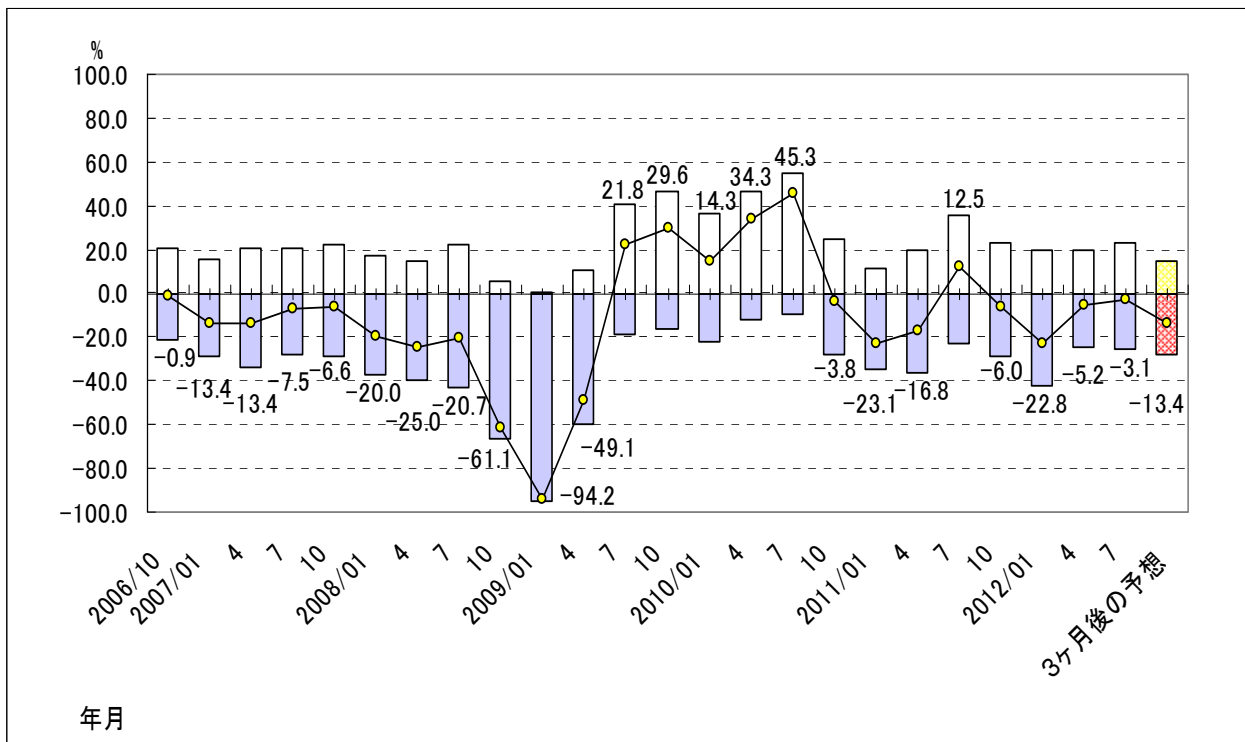
●製造業全社:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー5



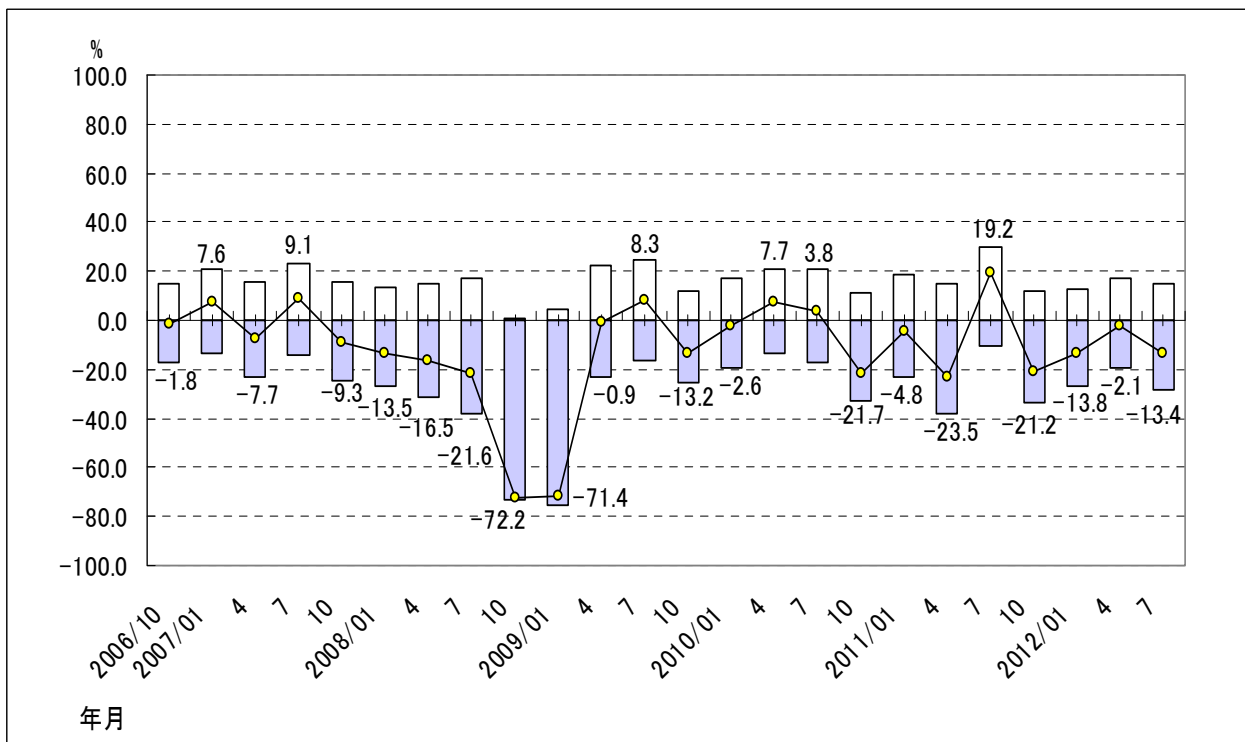
● 製造業 主要5業種:「3ヶ月前」と比べた受注状況DIの推移

グラフー6



● 製造業 主要5業種:「3ヶ月後」の受注予想DIの推移

グラフー7



## 2.商業・観光サービス業

### ①商業

諏訪地方の7月の天候は、前半は低温で雨天が多く、17日の梅雨明けごろから高温となった。「3ヵ月前」と比べた業況判断DIは77.8%の企業が「横這い」で0.0となった。来店客数DIは+25.0となる一方、客単価DIは△12.5で、収益性DIは好転と悪化が同じで0.0だった。「前年同期比」の業況判断DIは△44.5で、「3ヵ月後」の業況判断DIは悪化予想の企業が33.3%あり△22.2となっている。全体的には前半は果物や衣料、夏物製品などが低調で、猛暑になって動きが出た。経費節減で企業のお中元は減少傾向となっている。ボーナス商戦も少ない。レジ袋を有料化した大型店では反響が大きく、マイバック持参率が高まった。

- 食料品 気温が高くなった中旬以降、飲料や冷果、麺類などの売上が伸びた。
- 衣料品 前半は低温の影響で夏物の販売に苦戦したが、猛暑の中旬から持ち直した。
- 自動車 エコカー補助金終了後の反動が懸念されるものの、好調に推移した。
- 家電店 テレビ販売は低調だが、猛暑の影響でエアコンや扇風機に動きがあった。
- ホームセンター 週末の天候不順からバーベキューなどのレジャー用品の動きが幾分弱かった。

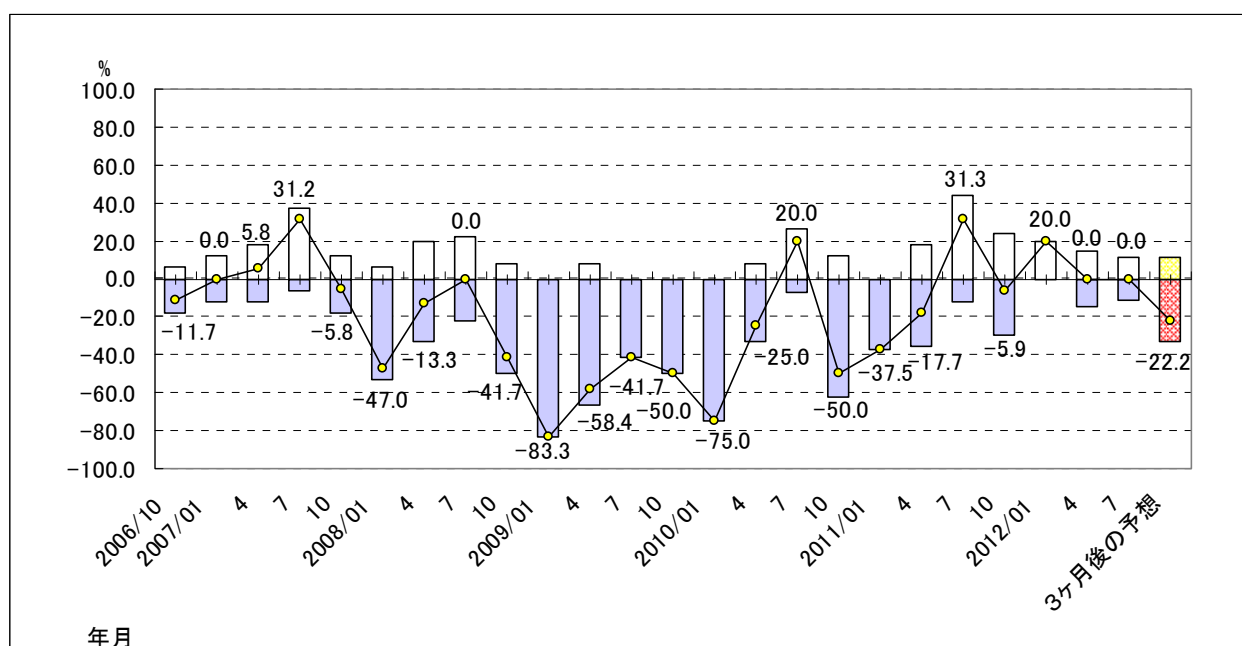
### 業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	9	11.1	77.8	11.1	0.0	9	11.1	33.3	55.6	-44.5	9	11.1	55.6	33.3	-22.2
客単価	8	12.5	62.5	25.0	-12.5	8	12.5	62.5	25.0	-12.5	8	0.0	62.5	37.5	-37.5
来店客数	8	25.0	75.0	0.0	25.0	8	25.0	25.0	50.0	-25.0	8	12.5	62.5	25.0	-12.5

### ●商業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



## ②観光・サービス業

「前年同期比」では、全体的には大幅改善した前回調査時の 31.5 から△17.6 とマイナスに転じたが、各施設周辺では従来の夏場のイベントに加え、施設のリニューアルオープン、公園や休憩施設の開放、料理イベント、野菜市などの新規事業が行われ、集客に力を入れている。「3ヶ月後」の宿泊客数予想DIは 35.3、業況予想DIが 29.4、昨年は震災の影響で下げた客単価予想DIも 23.5 と、それぞれ増加を予想している。

- 上諏訪温泉 宿泊客数は施設によって前年同月比 70%～110%と区々だが、総体では前年を下回っている。
- 蓼科・白樺湖・車山方面ほか 施設により前年同期比増減区々だが、連休時の悪天候や直接的には被害がなかったものの、大雨による土砂崩れで観光客の回遊性が悪くなるなどの影響があった。夏場の林間学校や合宿などの予約は例年並み。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた7月の参拝者数は約 57 千人と、前年同月比約△5 千人の減少となった。

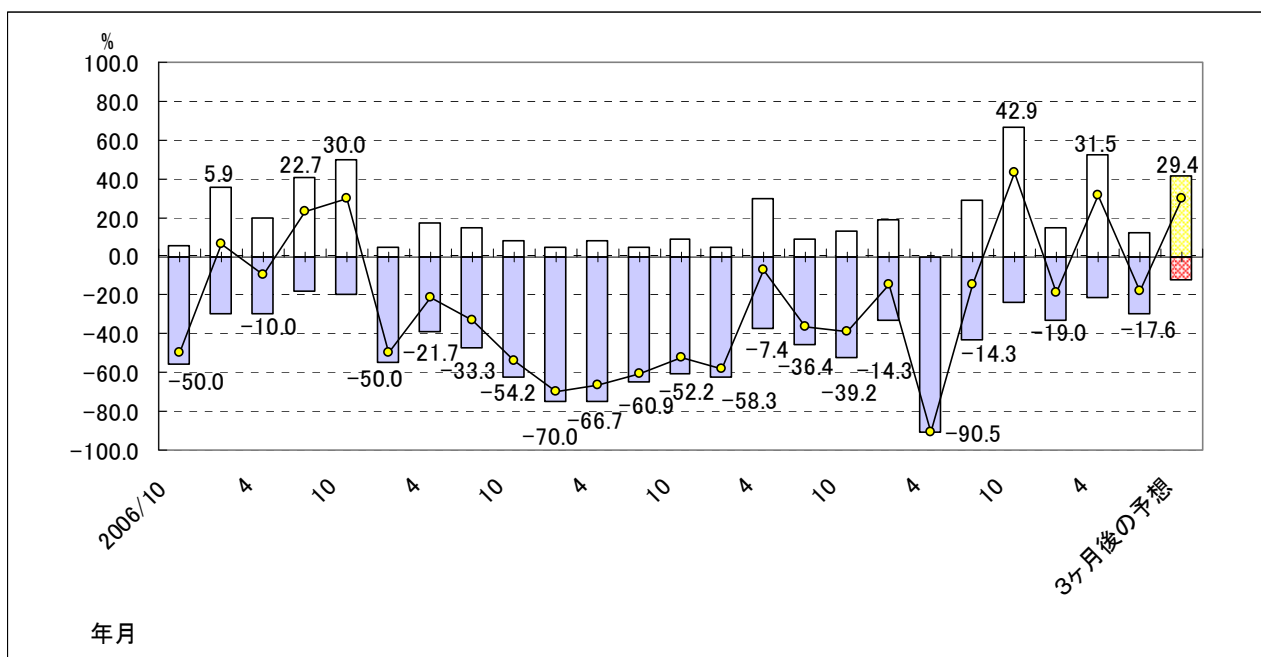
### 業況、売上、宿泊客

表－5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	17	47.1	47.1	5.9	41.2	17	11.8	58.8	29.4	-17.6	17	41.2	47.1	11.8	29.4
客単価	17	17.6	76.5	5.9	11.7	17	5.9	64.7	29.4	-23.5	17	35.3	52.9	11.8	23.5
宿泊客数	17	47.1	41.2	11.8	35.3	17	23.5	41.2	35.3	-11.8	17	52.9	29.4	17.6	35.3

### ●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べて業況判断DIの推移

グラフ－9



### 3.建設業

業況判断DIは「3ヶ月前」と比べて「好転」企業があり、前回調査時より改善したが、全体的に厳しい状況は続く。「前年同期比」は△25.0、「3ヶ月後」も好転予想の企業がなく△16.7となった。収益性DIは「前年同期比」で58.3%の企業が「悪化」として△50.0だった。受付が終了した住宅エコポイントは現金型のエコカー補助金ほど盛り上がりせず、駆け込み需要は少なかった。

#### ●建築工事

諏訪地方の平成24年6月の新設住宅着工戸数は85戸と前年同月の94戸に比べ△9戸(△9.6%)の減少となった。また、平成24年4月～6月の累計着工戸数は233戸で前年同期累計比では△20戸(△7.9%)の減少となった。なお、長野県全体の平成24年6月の新設住宅着工戸数は989戸で前年同月比△0.8%減少と、3ヶ月ぶりに減少した。

#### ●公共工事

7月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は諏訪建設事務所16件530百万円、林道治山工事関係1件5百万円、農地整備課3件59百万円、国関係4件206百万円、その他土木・建築工事1件9百万円だった。市町村の発注工事は建築工事15件、土木及び下水道工事46件、その他工事13件の合計74件806百万円だった。

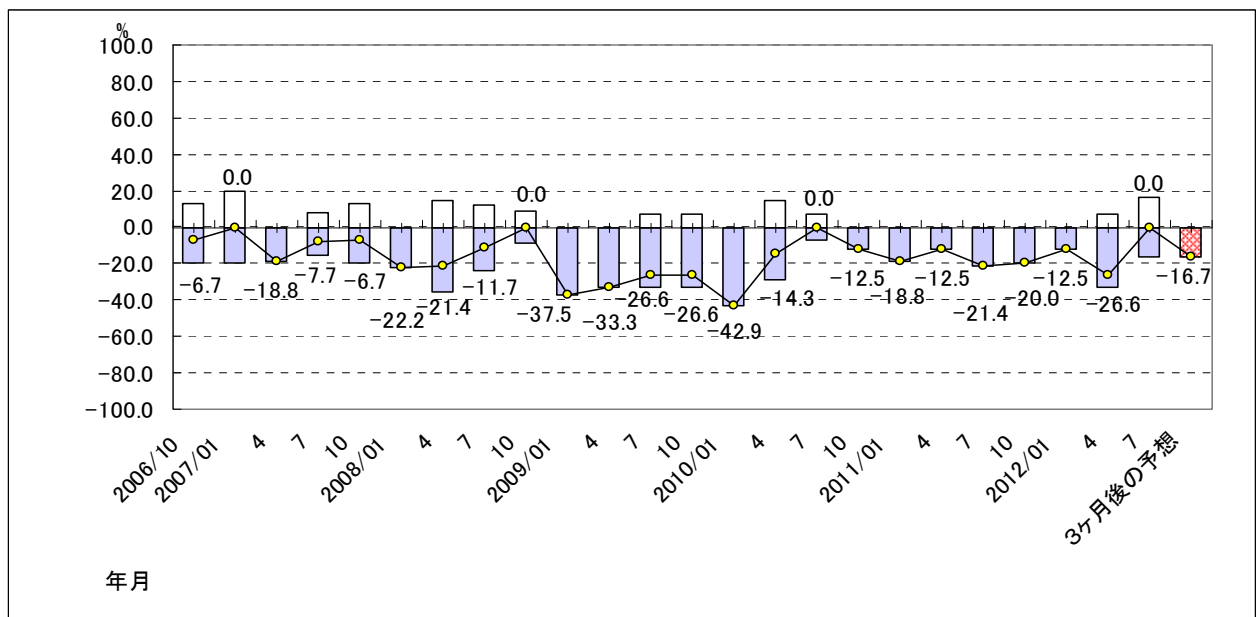
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	12	16.7	66.7	16.7	0.0	12	16.7	41.7	41.7	-25.0	12	0.0	83.3	16.7	-16.7
受注状況	12	16.7	33.3	50.0	-33.3	12	25.0	8.3	66.7	-41.7	12	0.0	50.0	50.0	-50.0
外注発注量	12	8.3	50.0	41.7	-33.4	12	8.3	25.0	66.7	-58.4	12	8.3	41.7	50.0	-41.7

#### ●建設業全社:「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-10



#### 4.収益性状況

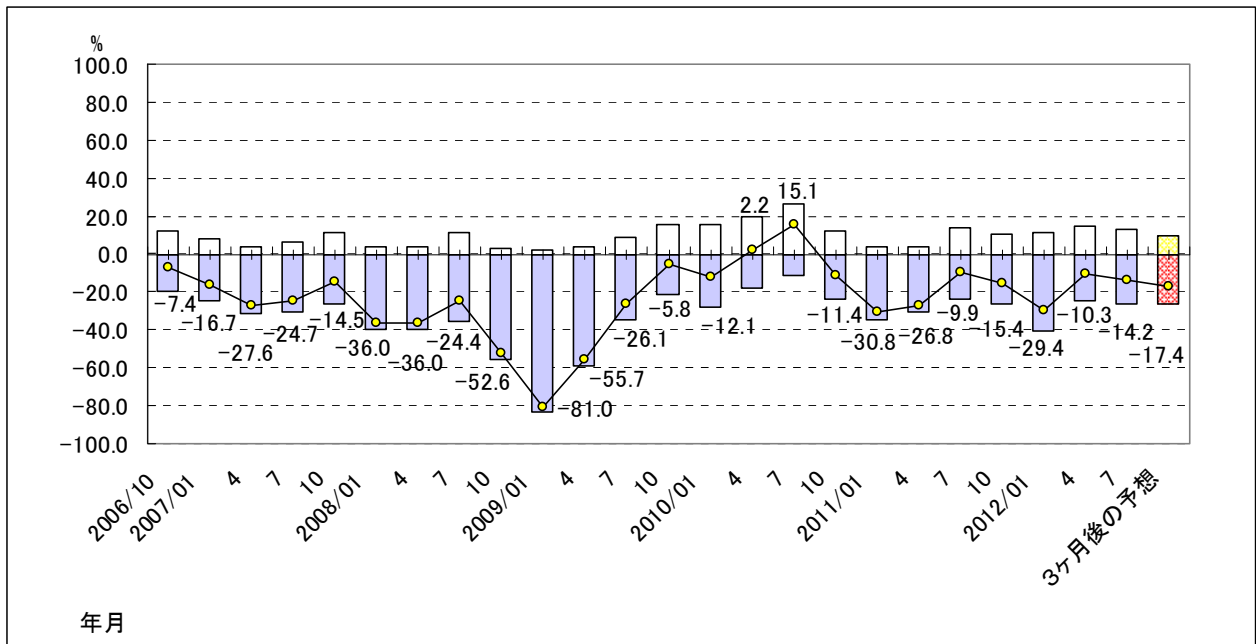
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 13.3%、「悪化」企業 25.5%で、同DIは△12.2と前回調査時の△10.4から1.8ポイント悪化した。

製造業の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 12.6%、「悪化」企業 26.8%で同DIは△14.2と前回調査時の△10.3から3.9ポイント悪化した。また、「3ヶ月後」の収益性予想DIは△17.4で「横這い」企業の割合が63.8%と最も多いものの、前回調査時の△10.3から悪化した。

非製造業の「3ヶ月前」と比べた同DIは△5.3と、前回調査時の△10.6から5.3ポイント改善した。

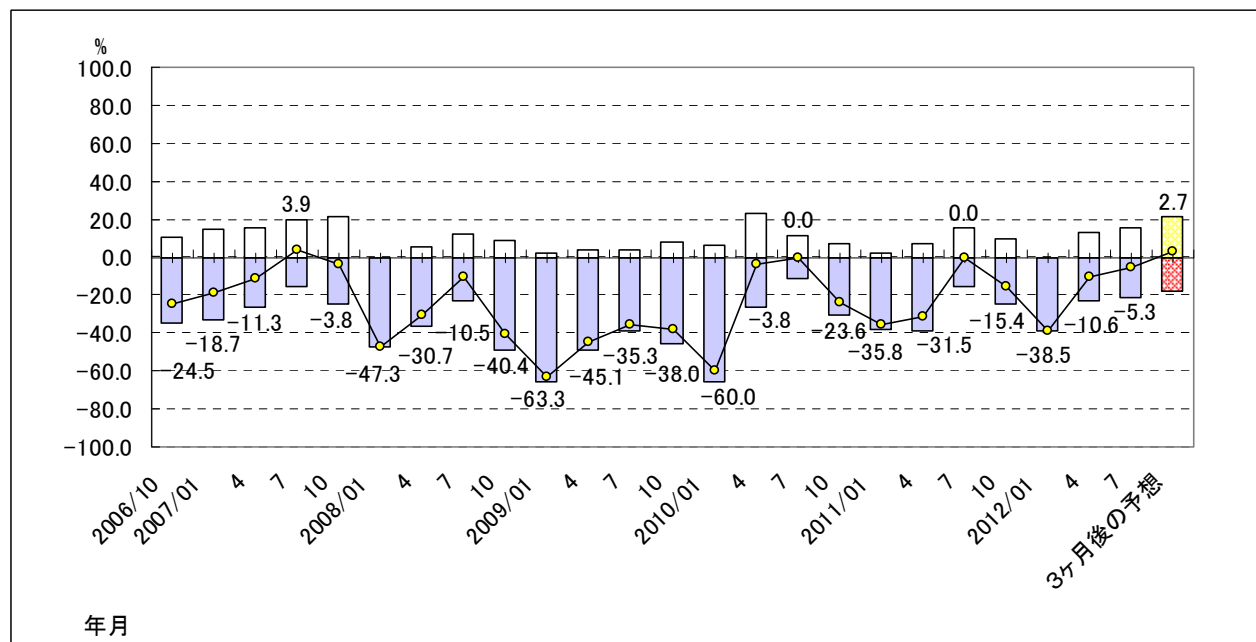
●製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー11



●非製造業:3ヶ月前と比べた収益性DI

グラフー12



## 5.経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、競争激化、単価引き下げをあげる企業が多く、②商業は、売上減少、競争激化、③建設業は売上減少、競争激化、④観光・サービス業は売上減少、資金繰りなどがあげられている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	92	66	7	7	12
単価引下げ	46	36	2	3	5
競争激化	60	44	5	6	5
資金繰り	39	30	2	2	5
人件費	27	18	3	2	4
労働力確保	16	11	1	1	3

## 6.諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【6月】	ハローワーク諏訪	0.74倍	+0.10ポイント	
手形交換高【7月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	8,711枚	+2,644枚	
	金額	11,277百万円	+3,591百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	7枚	+6枚
	金額	2,958千円	+2,885千円	
電力使用量【7月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,715 MWh	△8.5%	
	高压電力計	93,816 MWh	△6.3%	
	合計	133,531 MWh	△7.0%	
車庫証明取扱件数【7月】(諏訪地方合計)		1,153件	+37.6%	
新設住宅着工戸数【H24. 4~24. 6】(諏訪管内)		233戸	△0.08%	

## 7.調査概要

DI調査:業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

- ①調査期間 平成24年7月末
- ②調査内容 「平成24年7月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想
- ③調査方法 アンケート調査(回答数 下記⑦)及びヒアリング調査(約130社)
- ④対象地域 諏訪地域全域
- ⑤業種 製造業、商業(大型店:売り場面積501㎡以上)、建設業、観光・サービス業
- ⑥回答企業数 165企業
- ⑦回答率 61.8%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	127	9	12	17	165